

● 地理的分野 学習指導計画作成資料（第1学年）

※地理的分野第1学年の教科書での時数 56 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 10 時間

（第1学年の社会科全体の時数 105 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 18 時間）

※移行措置に関わる第1編第1章・第1編第3章第2節・第1編第4章・第2編第1章の学習については、各章冒頭に示した【移行措置についての留意点】をふまえ、新学習指導要領の規定を適用したご指導をお願いいたします。

累計時数	教科書ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
—	Ⅱ Ⅲ	世界の仲間	○学習の動機づけとなる世界各地の学習風景などの写真から、地理的分野の学習に対する意欲を持つことができる。	

第1編 世界のさまざまな地域

第1章 世界の姿

配当 5 時間

うち第1学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1.4 時間

【移行措置についての留意点】移行措置では、本章の指導にあたって、「第2編第1章 日本の姿」を加えて指導することとされている。

累計時数	教科書ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
1	2 3	1 私たちが生活する地球をとらえる ・三大洋と六大陸 ・六つの州に分けられる世界	○地球の海洋と大陸の分布（位置関係）をイメージとして把握することができる。 ○海洋と陸地の面積の割合、三大洋と六大陸の名称、世界の地域区分を説明することができる。	・P.2「トライ」・P.3「トライ」の問いに取り組み、大陸と海洋の分布、州の名称と位置を学習する。 【0.2時間】
2	4 5	2 世界の国を知る① ・世界の国々 ・人口や面積から世界の国を見る	○地図や統計資料を活用して、世界全体や主な国々の人口・面積についての特色を調べ、まとめることができる。 ○独立国の成立要件	・P.4「トライ」・P.5「トライ」の問いに取り組み、主な国々の名称と位置を学習する。 【0.3時間】

			(国家の三要素)を説明することができる。	
3	6 7	3 世界の国を知る② ・国名から世界の国を見る ・国旗から世界の国を見る ・国境から世界の国を見る	○特色のある国の国名の由来や国旗のモチーフについて調べ、その意味を説明することができる。 ○地図上で自然的国境と人為的国境を見分け、そのような国境が引かれた背景を考えることができる。	・P.7「トライ」の問いに取り組み、国境の種類や位置を理解する。 【0.3時間】
4	8 9	4 緯度・経度のしくみを知る ・緯度と経度の決まりをつかむ	○緯度・経度、緯線・経線、赤道、本初子午線の意味が説明できる。 ○地図帳の索引から特定の場所を探し、その位置を緯度・経度で表すことができる。	・P.9「トライ」の問いに取り組み、地球上の位置を緯度・経度を用いて表す。 【0.3時間】
5	10 11	5 地球儀と地図を活用する ・地球儀と地図のちがいを 知る ・地図の図法と使いみちを 知る	○地球儀と地図の長所・短所を理解できるとともに、主な図法の特徴を理解し、目的に応じた地図を選択することができる。 ○これまで学習した内容をもとに、日本の略地図を描くことができる。	・P.11「トライ」の問いに取り組み、大まかに世界地図を描けるようになる。 【0.3時間】

第2章 世界各地の人々の生活と環境

配当 8 時間

うち第1学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1 時間

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
6	14 15	1 暑い地域に生きる人々—マレーシアの生活— ・森とともに生きるオラン・アスリ ・変化する生活スタイル	○暑い地域であるマレーシアの人々の生活とその変容を知ることができる。 ○世界の暑い地域の分布を理解することができる。	

7	16 17	2 乾燥地域に生きる人々 —モンゴルの生活— ・モンゴルでの遊牧 ・家畜のめぐみ ・生活の変化	○乾燥地域であるモンゴルの人々の生活と その変容を知ることが できる。 ○世界の乾燥地域の分 布を理解することが できる。	
8	18 19	3 温暖な地域に生きる 人々—イタリアの生 活— ・自然と農業 ・街の生活 ・変化する生活と食文化を 守る取り組み	○温暖な地域であるイ タリアの人々の生活 と その変容を知ること ができる。 ○世界の温暖な地域の 分布を理解すること ができる。	
9	20 21	4 寒い地域に生きる人々 —アラスカの生活— ・ツンドラ地帯に住む人々 の生活 ・変化する生活	○寒い地域であるアラ スカの人々の生活と その変容を知ること ができる。 ○世界の寒い地域の分 布を理解することが できる。	
10	22 23	5 高地に生きる人々—ア ンデスの生活— ・アンデス山脈付近の生活 ・急速な生活の変化	○高地であるアンデス の人々の生活と その 変容を知ることがで きる。 ○世界の高地の分布を 理解することができ る。	
11	24 25	6 海に生きる人々—イン ド洋沿岸の生活— ・インド洋の島々と交易 ・キリンバ諸島の生活	○海洋地域であるイン ド洋の人々の生活と その変容を知ること ができる。 ○世界の海洋と島嶼の 分布を理解すること ができる。	・ P. 14～23の熱帯気候～高山気候に 含まれる五つの地域について学習 し、「海に生きる人々」の学習を 圧縮することも考えられる。 【1時間】
12	26 27	7 さまざまな宗教と人々 の生活 ・世界の三大宗教 ・宗教と人々の生活	○宗教と人々の生活と の 関係や、宗教の変 容を知ることができ る。 ○世界の宗教分布の概 要を理解することが できる。	
13	28 29	8 さまざまな言語と人々 の生活 ・世界のさまざまな言語 ・言語の変化と人々の生活	○言語と人々の生活と の 関係や、言語の変 容を知ることができ る。 ○世界の言語分布の概 要を理解することが できる。	

第3章 世界の諸地域

配当 28 時間

うち第 1 学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 2 時間

【移行措置についての留意点】移行措置では、本章の指導にあたって、「第1編第4章 世界のさまざまな地域の調査」を併せて指導することとされている。第1編第4章（ロシア）についての学習は、本章第2節（ヨーロッパ州）の学習に併せて行うことが考えられる。

第1節 アジア州—経済成長による社会の変化をテーマに—

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
14	32 33	1 アジア州の自然環境 ・地図をながめて ・「世界の屋根」のあるアジア州 ・熱帯から寒帯にまたがるアジア州	○アジア州の主な国の名称や位置、地形の特色を身に付けることができる。 ○アジア州の気候について、雨温図や気候区分地図の読み取りを行うことができる。	・P.32「読み取ろう」の問いに取り組み、自然環境の面からアジア州の地域的特色を大観する。 【0.2時間】
15	34 35	2 アジア州の人口、文化、産業 ・世界の人口の6割が集中するアジア州 ・アジア州の多様な文化 ・盛んな農業と工業化による経済成長	○アジア州の人口、文化、産業について、写真・地図・グラフなどの資料から読み取り、基礎的・基本的な知識を身に付けることができる。 ○急速に発展するアジア州について、グラフの読み取りを行うことができる。	
16	36 37	3 経済成長によって変化する中国 ・世界最大の人口をかかえる中国 ・東と西、南と北で異なる農業 ・外国企業の進出と工業化	○中国の経済成長の理由と、経済成長が生み出した経済格差や環境破壊について理解することができる。 ○経済成長が与えた影響について理解し、その対応策について考えることができる。	
17	38 39	4 国によって異なる経済成長—東アジア・東南アジア— ・稲作を中心とした農業 ・工業化の進んだ韓国 ・結びつきを強める東アジア	○写真や統計数値などの資料から、産業の変化に気づくことができる。 ○東アジア・東南アジアの国々の経済成長	

		アと東南アジア	が国によって異なる理由について理解することができる。	
18	40 41	5 発展するインド—南アジア— ・南アジアの農業の変化 ・IT産業大国インド ・インドの人々の生活の変化	○インドの経済成長の理由と、経済成長による人々の生活の変化について理解することができる。 ○都市と農村の生活の変化について、写真資料などから読み取ることができる。	
19	42 43	6 鉱産資源による経済成長—西アジア・中央アジア— ・豊富な石油を活用した経済成長 ・経済成長と社会の変化 ・紛争の続く西アジア・中央アジア	○西アジア・中央アジアが石油資源をもとに経済成長を続けていることを理解することができる。 ○繰り返し発生する紛争などの課題を理解し、対応策を考えることができる。	
—	44 45	【自由研究】 経済成長を続けるスリランカと日本 【学習のまとめ】 アジア州をふりかえる	○スリランカの経済成長の理由について調べ、アジア州の他の国との共通性を見いだすことができる。 ○単元の学習内容を振り返り、経済成長による社会の変化からみたアジア州の地域的特色をとらえることができる。	

第2節 ヨーロッパ州—EU統合による社会の変化をテーマに—

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
20	46 47	1 ヨーロッパ州の自然環境 ・地図をながめて ・広い平野と変化に富む山地 ・海流と偏西風の影響で温暖な気候	○ヨーロッパ州を大観し、主な国の名称と位置を知り、ヨーロッパ州の国々が世界に大きな影響を与えたことを理解することができる。 ○ヨーロッパ州の地形・気候などの自然環境を理解し、国際河川や運河の発達といった地域的特色を把握することができる。	・P.46「読み取ろう」の問いに取り組み、自然環境の面からヨーロッパ州の地域的特色を大観する。 【0.2時間】

			る。	
21	48 49	2 ヨーロッパ州の民族、文化、産業 ・多様な民族と言語 ・キリスト教に基づく文化 ・ヨーロッパ州の産業と統合の進展	○ヨーロッパ州の民族、宗教、文化の特色を、歴史や最近の社会の動向と関連付けて理解することができる。 ○ヨーロッパ州の農業の特色、工業の特色や現在の地位の低下について、理解することができる。	
22	50 51	3 EUの成立と人々の生活の変化 ・世界に例のない国境をこえた統合 ・統合による人々のくらしの変化	○第二次世界大戦の反省や戦後の地位の低下などの歴史的背景に気づき、現時点でのEUの概要を把握することができる。 ○EU統合によって人々の生活がどのように変化したのか、統合にどのような利点があったのかを理解することができる。	・P. 50「まとめよう」の問いに取り組み、世界におけるEUの地位をとらえる。 【0.2時間】
23	52 53	4 ヨーロッパ州の産業や経済の変化 ・統合による農業の変化 ・国境をこえる工業の動き ・ゆらぐユーロとEUの課題	○農業では共通農業政策、工業では国境を越えた協力など、EU統合による新たな動きを理解することができる。 ○EU加盟国の増加とともに経済格差が拡大し、一国の経済危機が他国に広がってユーロ危機につながったことを理解することができる。	
24	54 55	5 持続可能な社会をめざすヨーロッパ州の人々 ・環境に優しい交通と街づくり ・国境をこえる環境問題 ・持続可能な社会への取り組み	○環境に優しい交通と街づくりが、都市の景観を大きく変えていることを理解することができる。 ○酸性雨など国境を越える環境問題に対して、ヨーロッパ州の人々がどのような取り組みをしているのか把握することができる。	

—	56 57	<p>【自由研究】 地球温暖化を防ぐために 【学習のまとめ】 ヨーロッパ州をふりかえる</p>	<p>○地球温暖化防止の取り組みについて、先進国、発展途上国の立場の違いを理解し、世界全体でどうすればよいか、考えることができる。</p> <p>○単元の学習内容を振り返り、EU統合による社会の生活の変化からみたヨーロッパ州の地域的特色をとらえることができる。</p>	
---	----------	---	--	--

第3節 アフリカ州—主な生産品にたよる経済からの変化をテーマに—

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
25	58 59	1 アフリカ州の自然環境 ・地図をながめて ・台地状の大陸 ・赤道を中心に分布する気候と農業	<p>○アフリカ州の位置や範囲を理解し、赤道を中心として分布する気候区分の特色や、砂漠や草原などの特徴的な地形について大観できる。</p> <p>○アフリカ州の農業の特色を、各地の地形や気候の特色と関連付けながら説明することができる。</p>	<p>・P. 58「読み取ろう」の問いに取り組み、自然環境の面からアフリカ州の地域的特色を大観する。</p> <p>【0.2時間】</p>
26	60 61	2 アフリカ州の歴史、文化、産業 ・植民地支配と独立後の歩み ・多様で複雑な文化 ・豊かな鉱産資源と商品作物の生産	<p>○アフリカ州の大部分が、かつてヨーロッパ州の国々の植民地であったことを理解することができる。</p> <p>○アフリカ州の国々の独立後にどのような問題が残ったかを判断し、その問題の原因を地理的要因からとらえることができる。</p>	
27	62 63	3 アフリカ州の農業・鉱業の変化 ・輸出用の商品作物の栽培 ・鉱産資源の開発と経済成長 ・モノカルチャー経済の克服に向けて	<p>○アフリカ州にはどのような商品作物や鉱産資源があるかを具体的にとらえ、それらの生産と輸出が特定のものに偏っていることを理解するこ</p>	

			とができる。 ○モノカルチャー経済の原因と問題点を的確に表現し、その解決策について考えることができる。	
28	64 65	4 都市化による変化と残された課題 ・急激な都市化と社会の変化 ・残された課題 ・自立に向けた取り組み	○アフリカ州で進む都市化が、社会や人々の生活にどのような影響を及ぼしているかを理解することができる。 ○アフリカ州に残された課題を適切にとらえ、その解決に向けてアフリカ州自身に、そして日本を含む国際社会にできることを考えることができる。	
—	66 67	【自由研究】 武器を芸術作品に変える取り組み 【学習のまとめ】 アフリカ州をふりかえる	○モザンビークの事例から、平和な社会を実現するための具体例をとらえることができる。 ○単元の学習内容を振り返り、主な生産品にたよる経済からの変化からみたアフリカ州の地域的特色をとらえることができる。	

第4節 北アメリカ州—世界じゅうに影響をあたえる産業をテーマに—

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
29	68 69	1 北アメリカ州の自然環境 ・地図をながめて ・けわしい山脈と広大な平野 ・多様な気候をもつ北アメリカ州	○北アメリカ州の自然環境の特色について、地形地図・気候区分地図・雨温図・写真などの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付けることができる。	・P. 68「読み取ろう」の問いに取り組み、自然環境の面から北アメリカ州の地域的特色を大観する。 【0.2時間】
30	70 71	2 北アメリカ州の歴史、民族、産業 ・移民がつくった新しい社会 ・多民族国家アメリカ	○北アメリカ州の歴史から、アメリカが多民族国家となった理由を調べ、人種・民族問題にせまること	・P. 71「読み取ろう」の問いに取り組み、アメリカの人種・民族分布の特色をとらえる。 【0.2時間】

		<ul style="list-style-type: none"> ・産業の盛んな北アメリカ州 	<p>ができる。</p> <p>○北アメリカ州の産業について大観し、特色をおおまかにとらえることができる。</p>	
31	72 73	<p>3 世界の食料庫，北アメリカ州</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な農産物の生産 ・世界を支える農産物 ・適地適作の農業 	<p>○アメリカの大規模で合理的な農業の特色を，地図・写真・グラフなどから読み取ることができる。</p> <p>○アメリカが「世界の食料庫」といわれ，農産物を大量に生産・輸出して世界に大きな影響を与えている理由を考察することができる。</p>	
32	74 75	<p>4 世界をリードする北アメリカ州の工業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカ州の工業の歴史 ・ハイテク産業で世界をリードするアメリカ ・シェールガスが世界を変える？ 	<p>○北アメリカ州の工業がなぜ世界をリードしているのか，地図やグラフなどから考えることができる。</p> <p>○北アメリカ州の工業の特色や分布について，写真・グラフ・地図などから読み取ることができる。</p>	
33	76 77	<p>5 アメリカと世界との結びつき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の経済・政治の中心，アメリカ ・世界に広がるアメリカの文化 ・自動車社会のくらしのようす 	<p>○アメリカの生活・文化が身近な製品やサービスを通して世界の国々に影響を与えていることについて関心を持ち，追究することができる。</p> <p>○アメリカの経済が世界じゅうに影響を与えている理由を考え，簡潔にまとめることができる。</p>	
—	78 79	<p>【自由研究】 工業の変化に対応する都市の取り組み 【学習のまとめ】 北アメリカ州をふりかえる</p>	<p>○工業の変化に対する二つの都市の取り組みについて，その差異を理解することができる。</p> <p>○単元の学習内容を振り返り，世界じゅうに影響をあたえる産業からみた北アメリカ州の地域的特色をとらえることができ</p>	

			る。	
--	--	--	----	--

第5節 南アメリカ州—開発・環境問題と人々の生活をテーマに—

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
34	80 81	1 南アメリカ州の自然環境 ・地図をながめて ・南北にのびる山脈と東に流れる大河川 ・緯度と高度で変化していく気候	○地形地図から，南アメリカ大陸が赤道の北から南極大陸近くまで広がり，アンデス山脈やアマゾン川が位置することなど，地形の特色を理解することができる。 ○赤道から緯度によって南下するに従って気温が低下し，降水量が減少するなどの特色を，雨温図や写真などをもとに理解することができる。	・ P. 80「読み取ろう」の問いに取り組み，自然環境の面から南アメリカ州の地域的特色を大観する。 【0.2時間】
35	82 83	2 南アメリカ州の民族，文化，産業 ・南アメリカ州の歴史 ・多様な民族と文化 ・南アメリカ州の産業	○ヨーロッパ州の植民地となったことで，民族，文化，産業にどのような変化（影響）があったのかを，具体的に理解することができる。 ○南アメリカ州の国々の農業・鉱業などの特色を，地図や統計数値などの資料から把握することができる。	
36	84 85	3 熱帯雨林の開発による環境問題 ・開発によって失われる熱帯雨林 ・熱帯雨林を守る取り組み ・バイオ燃料の光と影	○アマゾン川流域の開発の現状とそれに伴う課題を理解するとともに，環境保全が必要な理由を考えることができる。 ○バイオ燃料が注目されている理由を，環境問題との関係から考えることができる。	
37	86 87	4 人々の動きからみた環境問題 ・都市に集中する人口 ・都市化による環境問題	○南アメリカ州の代表的な都市の分布と，都市化が進む理由を考えることができる	・ P. 86「読み取ろう」の問いに取り組み，南アメリカ州の都市化による環境問題をとらえる。 【0.2時間】

		・スラムの環境を改善する 取り組み	る。 ○都市化が進んだこと から発生する環境問 題とその改善策を、 具体的な事例から理 解することができる。	
—	88 89	【自由研究】 移民でつながるブラジルと 日本 【学習のまとめ】 南アメリカ州をふりかえる	○南アメリカ州になぜ 日本人が移住したの か、またどのように して日系人の立場を 築いていったのか、 その経緯と現状を理 解することができる。 ○単元の学習内容を振 り返り、開発・環境 問題と人々の生活か らみた南アメリカ州 の地域的特色をつか むことができる。	

第6節 オセアニア州—他地域との結びつきの変化をテーマに—

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
38	90 91	1 オセアニア州の自然環 境 ・地図をながめて ・世界最小の大陸と多くの 島々 ・乾燥した大陸と熱帯の 島々	○オセアニア州を大観 し、主な国の名称と 位置を身に付けるこ とができる。 ○オセアニア州にみら れる様々な地形と気 候の特色を、自然環 境に関する資料から 理解することができる。	・P.90「読み取ろう」の問いに取り 組み、自然環境の面からオセアニ ア州の地域的特色を大観する。 【0.2時間】
39	92 93	2 オセアニア州の人口、 民族、産業 ・四つの地域区分 ・植民地の時代 ・かたよる人口分布と民族 ・自然環境を生かした産業	○地形や気候が人々の 生活の様子や産業に 大きな影響を与える ことを、複数の資料 を手掛かりに調べる ことができる。 ○貿易の面からオセア ニア州とアジア州の 関係が深まっている ことを理解すること ができる。	・P.93「まとめよう」の問いに取り 組み、オーストラリアの農業の規 模の大きさをとらえる。 【0.2時間】
40	94 95	3 変化する先住民族と移 民の社会 ・イギリスの植民地時代	○国づくりの視点を通 して、イギリス植民 地時代のオーストラ	

		<ul style="list-style-type: none"> ・白豪主義から多文化社会へ ・先住民民族アボリジニとの共生 	<p>リアについて考えることができる。</p> <p>○オーストラリアの先住民民族と移民との共生の課題から、多文化共生社会の実現について考えることができる。</p>	
41	96 97	<p>4 強まるアジア州との結びつき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア州との経済の結びつき ・増えるアジア州からの観光客 ・太平洋の島々のかかえる課題 	<p>○既習知識と複数の資料をもとに、オセアニア州の他地域との結びつきを、経済の視点から考察することができる。</p> <p>○太平洋の島々の抱える課題を、島々の地方的特殊性を基に考察することができる。</p>	
—	98 99	<p>【学習のまとめ】 オセアニア州をふりかえる</p> <p>【自由研究】 北極地方と南極地方</p>	<p>○単元の学習内容を振り返り、他地域との結びつきの変化からみたオセアニア州の地域的特色をつかむことができる。</p> <p>○自然環境の視点から、両極地方の地域的特色を確認することができる。</p>	

第4章 世界のさまざまな地域の調査—ロシアを例に—

配当 8 時間

うち第 1 学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 4 時間

【移行措置についての留意点】移行措置では、「第1編第3章 世界の諸地域」の指導にあたって、本章を併せて指導することとされている。本章の学習は、「第1編第3章第2節 ヨーロッパ州」の学習に併せて行うことが考えられる。

※本章の学習においては、調査活動や調査結果のまとめは授業以外の場で、班ではなく個人で行うことも考えられる。

※本章の学習の全体を通して、生徒からの相談や進捗状況を把握する機会を設けるなど、生徒の学習状況を適宜把握し、適切に指導する。

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
42 43	102 103	<p>1 調査テーマを決め、調査の準備をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査テーマを決定する 	<p>○調べる国の中で興味を持ったことを整理し、意欲的に調査テ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ州の学習の流れの中で調査テーマの決定から調査計画を立てるところまでを行う。

		<ul style="list-style-type: none"> ・仮説を立てる ・調査計画を立てる 	<p>テーマを決定することができる。</p> <p>○調査テーマから仮説を立て、調査方法を検討し、調査計画を立てることができる。</p>	<p>【1時間】</p>
44 45	104 105	<p>2 調査を進めよう①ーシベリア鉄道班の調査ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文献資料や統計数値を使って調査する ・旅行体験記や小説を使って調査する 	<p>○調査や仮説の検証に必要な文献資料や統計数値などを、適切に収集・選択することができる。</p> <p>○収集・選択した文献資料や統計数値などから、ロシアのあらましをとらえ、シベリア鉄道の特色を明らかにすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自でインターネットを活用して文献資料・統計数値・旅行体験記などを収集し、調査を進める。図書館等の公共施設が利用可能な状況であれば、合わせて活用することも考えられる。 <p>【1時間】</p>
46 47	106 107	<p>3 調査を進めよう②ー生活・文化班の調査ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや映像資料を使って調査する ・聞き取り調査をする 	<p>○活用時の留意点に気を付けながら、インターネットで集めた情報や映像資料を使ってロシアの生活・文化を明らかにすることができる。</p> <p>○聞き取り調査のマナーに気を付けながら、ロシアと関係の深い人にインタビューし、ロシアの生活・文化にせまることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自でインターネットを活用して映像資料などを収集し、調査を進める。図書館等の公共施設が利用可能な状況であれば、合わせて活用することも考えられる。 <p>【1時間】</p>
48 49	108 109	<p>4 調査結果をまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮説を検証する ・調査結果をまとめる 	<p>○調査結果を整理し、調査当初に立てた仮説を検証することができる。</p> <p>○調査結果を整理し、まとめていく過程で、調べる国についての理解を深めていくことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自で調査結果を整理し、レポートにまとめる。 <p>【1時間】</p>
	110 111		<p>○調査結果を整理し、調査結果にふさわしい記述や説明の方法を考え、地図・写真・表・グラフなどを活用して、レポートにまとめることができる。</p>	

第2編 日本のさまざまな地域

第1章 日本の姿

配当 7 時間

うち第 1 学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1.6 時間

【移行措置についての留意点】移行措置では、「第1編第1章 世界の姿」の指導にあたって、本章を加えて指導することとされている。

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
50	114 115	1 私たちが生活する日本の位置をとらえる ・他国や大陸・海洋との関係をとらえる ・緯度・経度を使ってとらえる	○日本の位置を、相対的位置と絶対的位置の双方から表現できる。	・P.114「トライ」の問いに取り組み、日本の国土の位置をとらえる。 【0.2時間】
51	116 117	2 私たちが生活する日本の領域をとらえる ・日本の領域をとらえる ・日本の海の国境	○領域などの定義や、日本の領域に関する基礎的事項を理解することができる。 ○日本の領域についての理解を深め、海洋国家である日本の領域の特色をつかむことができる。	・P.116「トライ」の問いに取り組み、日本の領域の特色をとらえる。 【0.2時間】
52	118 119	3 日本の領域をめぐる問題をつかむ ・北方領土 ・竹島 ・領土問題の解決に向けて ・尖閣諸島をとりまく問題	○日本の領域をめぐる問題を、歴史的経緯もふまえて理解することができる。 ○日本の領域をめぐる問題について、日本や近隣諸国との関係をふまえて、解決に向けてどのような方策がとられてきたのかを説明できる。	
53	120 121	4 時差を使って日本の位置をとらえる ・標準時と時差のしくみを知る	○標準時・時差の仕組みを理解し、簡単な時差の計算をすることができる。 ○標準時・時差の仕組みから、地球上における日本と世界各地との位置関係をとらえることができる。	
54	122 123	5 日本の都道府県と7地方区分をとらえる	○都道府県や県庁所在地の名称と位置を、	・P.122「トライ」の問いに取り組み、日本の地域区分をとらえる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県と県庁所在地をとらえる ・日本の地域区分をとらえる 	<p>地図上でとらえることができる。</p> <p>○県境と7地方区分の特色を理解することができる。</p>	<p>【0.4時間】</p>
55	124 125	<p>6 日本のさまざまな地域区分をとらえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活・文化による区分をとらえる ・結びつきによる区分をとらえる 	<p>○7地方区分以外の日本の様々な地域区分を知ることができる。</p> <p>○これまで学習した内容をもとに、日本の略地図を描くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P.125「トライ」の問いに取り組み、大まかに日本地図を描けるようにする。 <p>【0.3時間】</p>
56	126 127	<p>7 地形図の見方を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地形図とはなんだろう ・デジタル化が進む地図 	<p>○地形図とはどのような地図なのかを理解することができる。</p> <p>○地形図の約束事（地図記号，方位，縮尺，等高線）を理解し，読図能力を高めることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P.129「トライ（上・下）」の作業に取り組み，地形図の活用という地理的技能の習得を図る。 <p>【0.5時間】</p>
	128 129		<p>○縮尺による地図表現の違いを理解し，読図能力を高めることができる。</p> <p>○段彩図・断面図の作成方法を知ることができる。</p>	

● 地理的分野 学習指導計画作成資料（第2学年）

※地理的分野第2学年の教科書での時数 59 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 8.3 時間

(第2学年の社会科全体の時数 105 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 14.3 時間)

第2編 日本のさまざまな地域

第2章 世界からみた日本の姿

配当 15 時間

うち第2学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1.2 時間

第1節 自然環境や災害・防災からみた日本

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
57	132 133	1 世界の地形 ・変化に富む世界の山地 ・広大な平野と長大な川	○造山帯と安定大陸についてその成り立ちと特色を理解し、世界各地の地形と人々の関わりについて理解を深めることができる。 ○地図や写真などを適切に活用し、世界各地に変化に富む地形がみられる理由を説明することができる。	
58	134 135	2 日本の地形 ・けわしい日本の山地 ・短い河川とせまい平野 ・変化に富んだ日本の海岸	○フォッサマグナや中央構造線について理解し、日本の山地の特色を説明することができる。 ○地図・写真・グラフなどの資料を使って日本の河川や海岸線の特色に気付き、その理由を説明することができる。	
59	136 137	3 世界の気候 ・緯度・高度と気温 ・風と気候 ・世界の気候区分	○世界の気候が地球上でどのように分布しているかをつかみ、緯度や高度、海流や風に影響されていることを理解できる。 ○六つの気候帯と11の	・世界の気候の学習については、世界各地の雨温図や気候区分図を学習する「第1編第2章 世界各地の人々の生活と環境」(P. 14～25)の学習に併せて行うことも考えられる。 【1時間】

			気候区について、それぞれの特色を説明することができる。	
60	138 139	4 日本の気候 ・日本の気候区分 ・冬から春の気候 ・夏から秋の気候	○雨温図や気候区分地図などの資料を読み取り、日本の六つの気候区について、それぞれの特色を説明することができる。 ○地形や季節風との関係から日本の気候の特色をとらえ、地形的条件とも照らし合わせて理解できる。	・P.138「考えよう」の問いに取り組み、日本の気候の特色をとらえる。 【0.2時間】
61	140 141	5 世界と日本の地震・火山災害 ・自然災害と日本 ・地震や津波による災害 ・火山の噴火による災害	○地震や津波、火山による災害の原因と被害について理解することができる。 ○日本は至る所で自然災害が起こりうる地域であることに気づき、災害について主体的に考察することができる。	
62	142 143	6 世界と日本の気象災害 ・洪水や土砂くずれなどの風水害 ・さまざまな気象災害 ・自然災害と人災	○気象災害の原因と被害について理解することができる。 ○自然災害の拡大と人間の活動の関係について考えさせ、問題点を明らかにできる。	
63	144 145	7 災害にそなえるために ・防災と減災 ・ふだんから住民や地域で行う防災 ・災害発生時と直後の防災	○災害の被害が拡大することを避けるために行われる様々な防災対策について知ることができる。 ○災害は人間の活動によって減災できることを考え、個人や地域社会でできる防災対策について整理できる。	
—	146 147	【地域からのメッセージ】 東日本大震災からの復興をめざして	○東日本大震災の被害の大きさについて知り、被災した人々の気持ちを考えることができる。 ○阪神・淡路大震災の	

			<p>経験を生かした東日本大震災の復興への取り組みを通して、防災対策のあり方について考えることができる。</p>	
—	148 149	【地域からのメッセージ】 せまりくる巨大地震	<p>○南海トラフ巨大地震の被害想定の大きさについて知り、予想される日本社会全体への深刻な影響と防災対策について考えることができる。</p> <p>○地震国日本では次の巨大地震の発生が不可避であることを認識し、減災のための防災対策を主体的に考えることができる。</p>	

第2節 人口からみた日本

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
64	150 151	1 世界の人口の分布と変化 ・世界の人口の分布 ・世界の人口の変化	<p>○現在の世界の人口及び人口の偏りについて、地形、気候、衛生知識、医療技術、社会情勢の変化などに関連付けて理解することができる。</p> <p>○世界の人口急増地域や人口減少地域における人口問題の概要や原因を把握することができる。</p>	
65	152 153	2 日本の人口の分布と変化 ・日本の人口の分布 ・過密化と過疎化 ・少子高齢化の進む日本 ・人口減少社会をむかえて	<p>○日本の人口分布の偏りや過密化・過疎化の原因とその問題点を、産業や社会の変化と関連付けて理解することができる。</p> <p>○日本では、少子高齢化が急速に進んで人口が減少していることを理解し、社会に及ぼす影響や課題について考えることができる。</p>	

第3節 資源・エネルギーと産業からみた日本

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
66	154 155	1 世界と日本の資源・エネルギー ・かたよった鉱産資源の分布 ・なくなる資源 ・日本のエネルギー消費と再生可能エネルギー	○世界の鉱産資源の分布を知るとともに、日本が鉱産資源のほとんどを外国からの輸入に頼っている現状を理解することができる。 ○日本のエネルギー消費の現状を知り、再生可能エネルギーの開発に関する諸課題について考えることができる。	
—	156 157	【地域からのメッセージ】 原子力発電所の事故と再生可能エネルギー	○福島第一原子力発電所の事故によって、放射性物質が大量に放出されたこと、関東地方に供給できる電力量が大幅に減少したことを理解することができる。 ○日本の電力量不足の現状を知り、安全性に配慮しながら、これからの電力確保をどうすればよいか、自分の考えをまとめることができる。	
67	158 159	2 世界と日本の第1次産業 ・第1次産業とは ・日本の農業の特色 ・日本の漁業・林業の特色 ・農林水産業の課題と変化	○地形、気候、人口分布、社会情勢の変化などと関連付けて、日本各地でどのような農林水産業が行われているかを理解することができる。 ○日本の農林水産業が抱えている課題と、農林水産業の新しい動きを把握することができる。	
68	160 161	3 世界と日本の第2次産業 ・第2次産業とは ・日本の工業の変化と現状 ・日本企業の外国進出と産	○第二次世界大戦後の日本の工業の変化や、現在の日本の工業の特色を理解することができる。	

		業の空洞化	○産業の空洞化など、日本の工業が抱える課題をとらえ、これからの日本の工業のあり方について考えることができる。	
69	162 163	4 世界と日本の第3次産業 ・第3次産業とは ・日本の商業の現状と変化 ・日本のサービス業の現状と変化	○日本の商業やサービス業が、情報化・高齢化などの社会の変化に伴い多様化している現状や、規模の変化を理解することができる。 ○商店街の衰退など日本の商業が抱える課題をとらえ、将来の商業やサービス業のあり方を考えることができる。	

第4節 結びつきからみた日本

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
70	164 165	1 世界各地の結びつき ・交通網・通信網の発達 ・国際化の進む世界 ・発展する貿易	○世界的視野から交通網・通信網の発達を概観することで、それらの発達が国際社会に与える影響について考えることができる。 ○諸資料から、人やものの移動や情報のつながりが、より速く広範囲に拡大していることを理解することができる。	
71	166 167	2 日本の結びつき ・日本国内の結びつきの変化 ・外国とのあいだの人の動き ・情報社会をむかえて	○国内の交通網・通信網の整備状況から、日本と世界との結びつきや国内各地の結びつきの特色を理解することができる。 ○諸資料から、交通網や通信網の発達により、日本にはどのような課題が新たに生じているかを考えることができる。	

第3章 日本の諸地域

配当 35 時間

うち第2学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 2.1 時間

第1節 九州地方—環境問題や環境保全の視点で—

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
72	170 171	1 九州地方の自然環境 ・地図をながめて ・九州地方の地形と火山 ・温暖で雨の多い気候	○日本列島における九州地方の位置や範囲を大観することができる。 ○九州地方には火山が多く温暖で降水量が多いため、様々な災害が発生する一方で、貴重な観光資源にも恵まれていることをとらえることができる。	・P.170「読み取ろう」の問いに取り組み、自然環境の面から九州地方の地域的特色を大観する。 【0.2時間】
73	172 173	2 九州地方の人口や産業 ・北部に集中する人口 ・自然環境を生かした農業 ・転換の進む工業	○九州地方では、地方中枢都市である福岡市を中心に交通網の整備が進み、一極集中がみられることを説明することができる。 ○九州北部と九州南部の人口分布の偏りについて、農業や工業の発達と関連付けて考察することができる。	
74	174 175	3 日本を支えた鉱工業と環境問題 ・北九州市の発展と公害 ・水俣市の環境を回復させる取り組み ・持続可能な社会をめざす取り組み	○高度経済成長期に発生した公害の原因や対策を理解し、環境モデル都市に選定されるまでの変化を説明することができる。 ○持続可能な社会を実現するための取り組みについて、環境保全や地域社会のつながりなどを考えることができる。	
75	176 177	4 環境保全に取り組む農業・漁業 ・畜産業と草原を守る取り組み	○九州地方の農業・漁業に関わる環境問題について、環境保全	

		組み ・農業と環境保全 ・環境問題と漁業との関係	が必要な理由を考察することができる。 ○循環型社会をめざすバイオマスを利用した農業などの取り組みから、環境保全の意義を理解することができる。	
76	178 179	5 環境保全のためのさまざまな取り組み ・沖縄の歴史的なあゆみ ・さんご礁からみた環境問題 ・さんご礁を守るための取り組み	○さんご礁を保護する取り組みを事例として、開発と環境保全のバランスが必要であると気づくことができる。 ○沖縄の歴史・文化の特色について、中国やアメリカとの結びつきも含めてとらえることができる。	・P.179「スキルUP」については、地形図の活用という地理的技能を習得する「7 地形図の見方を知る」(P.126～129)の学習に併せて行うことも考えられる。 【0.3時間】
—	180 181	【地域からのメッセージ】 日本の環境首都をめざして 【学習のまとめ】 九州地方をふりかえる	○公害を克服した北九州市の環境産業の技術についてまとめ、今後の国際協力に取り組む必要性を考えることができる。 ○単元の学習内容を振り返り、環境問題や環境保全の視点から九州地方の地域的特色を地図や文章で表現できる。	

第2節 中国・四国地方—人口や都市・村落の視点で—

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
77	182 183	1 中国・四国地方の自然環境 ・地図をながめて ・東西にのびる山地と平野 ・三つの地域で異なる気候	○中国・四国地方の位置と自然環境を大観し、地方を構成する県の位置と名称を理解することができる。 ○中国・四国地方の主な自然地名や都市の位置と名称を読み取り、三つの地域で異なる気候の特色を説明することができる。	・P.182「読み取ろう」の問いに取り組み、自然環境の面から中国・四国地方の地域的特色を大観する。 【0.2時間】
78	184	2 中国・四国地方の人口	○中国・四国地方の人	

	185	<p>や産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の多い地域と過疎化の進む地域 ・気候や地形を利用した農業・漁業 ・瀬戸内海沿岸で盛んな工業 	<p>口分布の特色を，地形と関連付けて理解することができる。</p> <p>○中国・四国地方の農業・漁業・工業の特色について，資料を活用しながら考察することができる。</p>	
79	186 187	<p>3 人口の集中する瀬戸内海沿岸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の集中する広島市 ・都市化の進む地域の課題 ・都市の分布の原因をみる 	<p>○中国・四国地方の過密地域の現状や抱えている課題を理解することができる。</p> <p>○都市の分布の原因には，過去の交通網といった歴史的背景が深く関連していることを読み取ることができる。</p>	
80	188 189	<p>4 過疎化の進む地域の努力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過疎化の進む地域の現状 ・過疎地域の生活を守る努力 ・過疎地域の活性化をめざして 	<p>○中国・四国地方の過疎地域の現状や抱えている課題を理解することができる。</p> <p>○中国・四国地方の過疎地域の生活を守るために，地域に応じて人々が様々な地域おこしの知恵や努力を行っていることを知ることができる。</p>	
81	190 191	<p>5 交通網の発達による人の動きの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過疎化の進展と高速道路の整備 ・本州四国連絡橋の光と影 	<p>○中国・四国地方の交通網の整備が，人口の変化や地域社会にどのような影響を及ぼしているのかを理解することができる。</p> <p>○過疎地域の抱える防災面での課題を整理し，防災意識の重要性を認識することができる。</p>	
—	192 193	<p>【地域からのメッセージ】 地域活性化の取り組みをみる</p> <p>【学習のまとめ】 中国・四国地方をふりかえる</p>	<p>○地域活性化の取り組みを通して，どのように人々の生活や産業が維持されているのかを理解することができる。</p> <p>○単元の学習内容を振り返り，人口や都市・村落の視点から</p>	

			中国・四国地方の地域的特色をつかむことができる。	
--	--	--	--------------------------	--

第3節 近畿地方—歴史的背景の視点で—

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
82	194 195	1 近畿地方の自然環境 ・地図をながめて ・中部の平地と南部・北部の山地 ・北部・中部・南部の気候	○近畿地方の範囲と府県、おおまかな地形・気候の様子を確認し、この地方を大観することができる。	・P.194「読み取ろう」の問いに取り組み、自然環境の面から近畿地方の地域的特色を大観する。 【0.2時間】
83	196 197	2 近畿地方の歴史、人口、産業 ・長い歴史に支えられた近畿地方 ・大都市圏に集中する人口 ・特色のある農林業や工業	○近畿地方が歴史上占めていた地位など、この地方の歴史的背景を大観することができる。 ○長い歴史に根ざした近畿地方の都市の様子などから、近畿地方の人口や産業の特色を大観することができる。	
84	198 199	3 歴史的都市の街なみと文化 ・京都・奈良の歴史的な街なみ ・歴史的都市の景観保全 ・現在に息づく京都の文化	○歴史的背景の視点から、現在の近畿地方の街なみや文化を理解することができる。 ○歴史的都市における景観保全の重要性や、伝統文化が現在に息づく理由を説明することができる。	・P.199「読み取ろう」については、地形図の活用という地理的技能を習得する「7 地形図の見方を知る」(P.126~129)の学習に併せて行うことも考えられる。 【0.2時間】
85	200 201	4 関西大都市圏の成り立ち ・歴史的に経済活動が盛んな大阪市 ・貿易都市の歴史をもつ神戸市 ・鉄道網の発達と大都市圏	○歴史的背景の視点から、関西大都市圏の変化と発展を理解することができる。 ○大阪市・神戸市の抱える課題を説明することができる。	
86	202 203	5 近畿地方の産業と歴史 ・都市と結びついた近畿地方の農林業 ・歴史に根ざした伝統工業 ・転換期をむかえる阪神工業地帯	○歴史的背景の視点から、近畿地方の農業・工業の特色を理解することができる。 ○近畿地方の工業が抱える課題と、解決に	

			向けてどのような取り組みを進めているかを説明することができる。	
—	204 205	【地域からのメッセージ】 時代の変化に対応する伝統文化 【学習のまとめ】 近畿地方をふりかえる	○祇園祭の歴史的背景から現在にいたるまでの工夫や努力、取り組みについて考えることができる。 ○単元の学習内容を振り返り、歴史的背景の視点から近畿地方の地域的特色をつかむことができる。	

第4節 中部地方—産業の視点で—

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
87	206 207	1 中部地方の自然環境 ・地図をながめて ・「日本の屋根」がある中部地方 ・三つの地域の気候の特色	○中部地方は地形によって三つの地域に分けられることを理解することができる。 ○中部地方の三つの地域の変化に富んだ気候の特色を説明することができる。	・P.206「読み取ろう」の問いに取り組み、自然環境の面から中部地方の地域的特色を大観する。 【0.2時間】
88	208 209	2 中部地方の人口や産業 ・人口の分布と都市の発達 ・盛んな農業・工業 ・自然環境や伝統文化を生かした観光業	○東海・中央高地・北陸では、人口分布や産業にそれぞれ違った特色があることを理解することができる。	
89	210 211	3 日本の工業の中心地、東海 ・自動車工業の盛んな東海 ・なぜ東海で工業が発展したのか ・園芸農業が盛んな東海	○東海では自動車工業や園芸農業が盛んであることを理解することができる。 ○東海で工業や農業が盛んな理由を説明することができる。	
90	212 213	4 交通網の整備と中央高地の産業 ・地形や気候に適応した特色のある農業 ・中央高地の工業の変化 ・中央高地の観光業	○中央高地の農業・観光業は、自然環境からどのような影響を受けているのかを考えることができる。 ○交通網の整備によって、農業・工業・観光業が変化していることを理解すること	

			ができる。	
91	214 215	5 自然環境からみた北陸の産業の特色 ・水田単作の米づくり ・伝統工業と近代工業 ・日本の電力を支える中部地方	○北陸の農業や工業の特色を、自然環境と関連付けて考えることができる。 ○日本の電力を支える中部地方の役割について理解することができる。	
—	216 217	【地域からのメッセージ】 伝統工業・地場産業の現状と未来 【学習のまとめ】 中部地方をふりかえる	○北陸の伝統工業や地場産業について、現状や課題を知り、これらの産業の未来について考えることができる。 ○単元の学習内容を振り返り、産業の視点から中部地方の地域的特色をつかむことができる。	

第5節 関東地方—他地域との結びつきの視点で—

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
92	218 219	1 関東地方の自然環境 ・地図をながめて ・日本最大の平野とまわりの山地 ・乾燥した冬と暑い夏	○関東地方の地形や気候などを調べることで、関東地方の自然環境における地域的特色を理解することができる。 ○雨温図などの資料から関東地方の地域的特色をつかんだり、地図から関東地方の位置や範囲、構成する都県をとらえたりすることができる。	・P. 218「読み取ろう」の問いに取り組み、自然環境の面から関東地方の地域的特色を大観する。 【0.2時間】
93	220 221	2 関東地方の人口、産業、文化 ・巨大な人口をかかえる東京大都市圏 ・盛んな農業・工業 ・第3次産業と都市文化	○関東地方の人口、産業、文化を調べることで、関東地方の人文環境における地域的特色を理解することができる。 ○主題図やグラフなどの資料から、関東地方における人口、産業、文化の特色をつかむことができる。	

94	222 223	3 世界都市・東京と各地との結びつき ・日本の首都・東京 ・「一極集中」の光と影 ・世界のなかの東京	○東京と国内・外国との結びつきをもとに、東京の役割について考えることができる。 ○諸資料から、東京と国内・外国との結びつきを読み取ることができる。	
95	224 225	4 東京大都市圏の人々の結びつき ・東京の都心と副都心 ・郊外の住宅地の広がり ・過密化した都市の問題	○東京大都市圏の都市構造を、都心と郊外との結びつきやそれぞれの役割からとらえることができる。 ○諸資料から、東京大都市圏を構成している近隣の県との結びつきや、過密化した都市の問題点を読み取ることができる。	
96	226 227	5 工業・農業と東京大都市圏の関係 ・湾岸部と内陸部の工業地域 ・大都市圏と結びついた関東地方の農業	○関東地方の工業・農業について、自然環境との関連や東京大都市圏との結びつきから調べることができる。 ○諸資料から、関東地方の工業・農業の特色をつかむことができる。	
—	228 229	【地域からのメッセージ】 ニュータウンからみる結びつきの変化 【学習のまとめ】 関東地方をふりかえる	○高齢化に対する取り組みを進めるニュータウンについて、二つの事例を見比べながら、地域の結びつきのあり方について考える。 ○単元の学習内容を振り返り、他地域との結びつきの視点から関東地方の地域的特色をつかむことができる。	

第6節 東北地方—生活・文化の視点で—

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
97	230 231	1 東北地方の自然環境 ・地図をながめて	○地形地図から、東北地方の地形の特色を	・P.230「読み取ろう」の問いに取り組み、自然環境の面から東北地方

		<ul style="list-style-type: none"> ・南北にのびる山地と平地 ・日本海側と太平洋側で異なる気候 	<p>読み取ることができるとともに、津波災害に繰り返し襲われてきたことを理解することができる。</p> <p>○東北地方では、日本海側と太平洋側で気候の特色に違いがあることを理解することができる。</p>	<p>の地域的特色を大観する。</p> <p>【0.2時間】</p>
98	232 233	<p>2 東北地方の人口、産業と震災の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が続く東北地方 ・自然環境を生かした多様な農業・漁業 ・東日本大震災からの復興をめざす東北地方 	<p>○東北地方に関する複数の地図やグラフなどの資料から読み取ることができる事実を関連付けて、人口、産業の特色について考察し、説明することができる。</p> <p>○東北地方の各地で、地形や海流などの自然環境を生かした農業・漁業が行われていることを理解することができる。</p>	
99	234 235	<p>3 東北地方の伝統文化を守る取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の祭りや年中行事 ・伝統文化の変化と伝統文化を守る運動 ・伝統文化や歴史を生かした観光 	<p>○東北地方で祭りや年中行事などが変化しながらも受け継がれている理由を理解することができる。</p> <p>○伝統文化や伝統的な街なみを守るための取り組みについて考察し、説明することができる。</p>	
100	236 237	<p>4 生活・文化からみた東北地方の農業・工業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の農業と食文化 ・特色ある伝統工業 ・交通網の発達と東北地方の工業の変化 	<p>○東北地方では、人々の生活・文化と関わりの深い農業や伝統工業が多くみられることを理解することができる。</p> <p>○交通網と東北地方の工業の関連について、資料から読み取った事実をもとに考察し、説明することができる。</p>	
101	238 239	<p>5 東北地方の生活・文化と他地域との結びつき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強まる関東地方との結びつき 	<p>○交通網や通信網などの整備が、東北地方の生活・文化に影響を与えていることを</p>	

		<ul style="list-style-type: none"> 原子力発電所の事故による深刻な影響 世界の人々との結びつきが生む新しい動き 	<p>理解できる。</p> <p>○関東地方との結びつきが強くなることで、今後考えられる東北地方の変化について意欲的に考察することができる。</p>	
—	240 241	<p>【地域からのメッセージ】 過去からの伝承に学ぶ</p> <p>【学習のまとめ】 東北地方をふりかえる</p>	<p>○社会的事象から得た教訓を伝承させる上で「視覚的な遺構」「教訓をまとめた言葉」「教育で扱う」などが重要であることを理解できる。</p> <p>○単元の学習内容を振り返り、生活・文化の視点から東北地方の地域的特色をつかむことができる。</p>	

第7節 北海道地方—自然環境の視点で—

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
102	242 243	1 北海道地方の自然環境 <ul style="list-style-type: none"> 地図をながめて 北の大地の姿 きびしい冬と過ごしやすい夏 	<p>○北海道地方の地形を大観し、主な山地・火山・平野の分布を把握するとともに、雄大な自然環境があることを理解することができる。</p> <p>○北海道地方が冷帯気候に属していることをふまえて、そこで見られる自然現象について理解することができる。</p>	<p>・P.242「読み取ろう」の問いに取り組み、自然環境の面から北海道地方の地域的特色を大観する。</p> <p>【0.2時間】</p>
103	244 245	2 北海道地方の歴史、人口、産業 <ul style="list-style-type: none"> 北海道地方の歴史 低い人口密度と札幌への一極集中 北海道地方の産業 	<p>○開拓の歴史とアイヌ民族との関わりを知ること、北海道地方の産業や生活・文化についての理解を深めることができる。</p> <p>○人口の偏りと産業の変化を時系列的にとらえ、現在の北海道地方が抱える問題点を理解することができる。</p>	<p>・P.244「読み取ろう」の問いに取り組み、札幌市への一極集中が進んでいることを確認する。</p> <p>【0.2時間】</p>

104	246 247	3 自然環境を生かした人々の生活 ・寒さのきびしい北海道の生活 ・開拓のあゆみを示す農村の姿 ・アイヌ民族の生活と自然環境	○北海道地方の人々の生活には、開拓の歴史と自然環境に対応する工夫があることを理解することができる。 ○北海道地方の自然環境とともに生きてきたアイヌ民族の歴史と文化を理解し、多様な文化を尊重する態度を養う。	
105	248 249	4 自然環境を生かした特色のある産業 ・自然環境を克服してきた稲作・畑作 ・広がる牧草地と盛んな酪農 ・食の安全に対応する農林水産業の取り組み	○北海道地方の稲作・畑作・酪農がどのように行われているかを理解し、これらの農業の特色を自然環境との関わりから説明することができる。 ○食の安全やTPPなどの社会情勢の変化に対応するため、農業・漁業の競争力を高める努力が続けられていることを理解することができる。	
106	250 251	5 自然環境を守りながら地域を活性化する取り組み ・自然環境を生かした観光 ・美しい農村風景の出現 ・観光による地域の活性化	○北海道地方の自然環境について、観光資源としての価値に注目して説明することができる。 ○北海道地方の観光業について、自然環境といかに共存しながら地域を活性化するかという視点で考察することができる。	
—	252 253	【地域からのメッセージ】 火山と地域との共生 【学習のまとめ】 北海道地方をふりかえる	○火山のもたらす災害と恵みについて理解するとともに、火山と共生する方法について考えることができる。 ○単元の学習内容を振り返り、自然環境の視点から北海道地方の地域的特色をつかむことができる。	

第4章 身近な地域の調査—愛知県小牧市を例に—

配当 9 時間 （「地理を学んで」含む）

うち第 2 学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 5 時間

※本章の学習においては、調査活動や調査結果のまとめは授業以外の場で、班ではなく個人で行うことも考えられる。

※本章の学習の全体を通して、生徒からの相談や進捗状況を把握する機会を設けるなど、生徒の学習状況を適宜把握し、適切に指導する。

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
107 108	256 257	1 調査テーマを決め、調査の準備をしよう ・調査テーマを決定する ・仮説を立てる ・調査計画を立てる	○関連図を作成するなどして、意欲的に調査テーマを決定することができる。 ○調査テーマから仮説を立て、調査方法を検討し、調査計画を立てることができる。	・身近な地域の含まれる地方の学習を「第2編第3章 日本の諸地域」の最後に設定し、地方学習のまとめと関連付けて調査テーマの決定から調査計画を立てるところまでを行う。 【1時間】
109 110	258 259	2 調査を進めよう① ・野外観察をする ・聞き取り調査をする	○野外観察や聞き取り調査を意欲的に行うことができる。 ○聞き取り調査のマナーに気をつけながら、桃づくり農家の工夫や苦勞を調べることができる。	・野外観察については、諸条件を勘案して、個人でインターネットを活用して地形図から身近な地域の特色を読み取る活動などで代替することを検討する。図書館等の公共施設が利用可能な状況であれば、合わせて活用することも考えられる。
	260 261		○野外観察の手法や地形図の活用方法に対する理解を深め、実際の野外観察や調査活動に役立てることができる。	・地形図から身近な地域の特色を読み取る活動については、「7 地形図の見方を知る」(P.126~129)の学習に併せて行うことも考えられる。 【1時間】
111 112	262 263	3 調査を進めよう② ・文献資料や統計数値を使って調査する	○文献資料・統計数値の入手先・活用方法について理解している。 ○調査や仮説の検証に必要な文献資料・統計数値などを、適切に収集・選択することができる。	・各自でインターネットを活用して文献資料・統計数値などを収集し、調査を進める。図書館等の公共施設が利用可能な状況であれば、合わせて活用することも考えられる。 ・「第2編第3章 日本の諸地域」の身近な地域の含まれる地方の学習の際に、あらかじめ調査で活用できる数値を収集しておくことも考えられる。 【1時間】
113 114	264 265	4 調査結果をまとめて、地域の課題をとらえよ	○調査結果や文献資料・統計数値などに	・各自で調査結果を整理し、レポートにまとめる。

		う ・仮説を検証する ・地域の課題をとらえる	に基づき、根拠を明確にして仮説の検証を行う態度を身に付けることができる。 ○仮説について検証を加えるなかで、地域の新たな課題に気づくことができる。	【1時間】
266 267			○調査結果を整理し、調査結果にふさわしい記述や説明の方法を考え、地図・写真・グラフなどを活用して、レポートにまとめることができる。	

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
115	269	地理を学んで	○これまでの学習を振り返り、世界や日本の抱える諸課題に注目し、地理的分野の学習のまとめとすることができる。	・これまでの学習を振り返り、地理的分野で学習した世界や日本の諸課題とその解決策を整理し、表にまとめる。 【1時間】